

「赤城山環境ガイドボランティア養成講座 Step Ⅰ」

主催：NPO法人赤城自然塾  
協力：群馬県中部行政事務所、前橋市、国立赤城青少年交流の家、  
期日：平成 23 年 6 月 12 日（日）、7 月 16 日（土）、10 月 22 日（土） 3 日間  
場所：赤城山ビジターセンターおよび山上  
対象者：平成 22 年度 step 修了生、平成 23 年度 step 受講予定者、赤城山に関心を持つ新規応募者

時系列別報告

7月16日

参加者：39名

受講者：男子 23 名、女子 8 名

講師：2 名

事務局：1 名

来賓・オブザーバー：5 名

会場：赤城山ビジターセンターおよび山上(長七郎、小沼、覚満淵)

9：00 赤城山ビジターセンターにて受付開始

9：45 参加者の自己紹介

定期バスガイド添乗初日 第 1 便到着

添乗者：細谷泰治、根岸 稔、岡山 哲史

10：15 弁当配布後、小沼駐車場へ自家用車乗り合わせにより移動

10：30 長七郎へ向けて自然観察、解説



11：30 長七郎山頂にて昼食





13:45 篠原講師ビジターセンターの利用について

14:00 覚満淵の自然観察、解説



15:10 ビジターセンターにて定期バスガイドボランティア乗車について説明と協力依頼



15:35 終了、解散

下界の37をよそに、緑陰を流れる涼風をたのしみながら、stepを実践することができました。本講座の実績を伝え聞いた方が数名、今回から参加されました、また、stepの修了生で赤城山定期バスガイド初日として添乗した3名も参加され、総参加者数は39名になりました。

今回長七郎登山をプログラムに加え、11:30に登頂しましたが、南東面は雲海に覆われていて眺望は叶いませんでした。しかし、下界の暑さを避けたトンボの群れがたくさん飛び交っており、講師からトンボは37になると死んでしまう、そのため高所に移動してきているとの解説を聞きました。

前回(6/12)はシロヤシオをはじめ見事な花を体験できましたが、今回はノハナショウブ、ウスユキソウ、

キンポウゲ、ヤマオダマキ、クルマユリなど可憐な花に会うことができました。また5月1日に覚満淵でササ刈りをしましたが、ニッコウキスゲも咲いていました。

途中、ビジターセンターで篠原講師により、前回説明しなかった半分の展示物について解説いただき、ビジターセンターの理解が深まりました

覚満淵入り口のミズナラ林では、ご家族や恋人同士が大木の木陰をたのしんでおられ、軽井沢より良いとの声も聞こえてきました。

今回、参加者の紹介をしてないため、9:45～10:15の間、一人1分程度で自己紹介をしました。参加の動機は様々ですが、赤城が好きという面は共通しております。

また、15:10～15:35の間、定期バスガイド添乗の報告と協力依頼を行い、実施に向けて期待が持てました。

10月22日日本講座3回目について、実施場所の希望、意見を聞きました。五輪尾根、オトギの森等が出ましたが、後日の決定としました。